

「あんまりすてきだったから」 出版記念トークイベント

～くどうれいんさん初めての絵本、製作のウラ話～

無料

2022 **7.3** ① 10:30～12:00 (開場 10:00)

オンライン
開催

『わたしを空腹にしないほうがいい』『氷柱の声』著者であるくどうれいんさんと、絵本編集者筒井大介さんの対談イベントを開催します。くどうさんの最新作となる絵本『あんまりすてきだったから』(ほるぶ出版)の解説や、製作過程、裏話などをお話していただきます。
創作に関する質問コーナーもありますので、この機会にぜひご参加ください。



撮影・森清

作家
くどうれいんさん

1994年生まれ。岩手県盛岡市在住。
著書にエッセイ集『わたしを空腹にしないほうがいい』(BOOKNERD)、『うたうおばけ』(書肆侃侃房)、第一歌集『水中で口笛』(左右社)、中編小説『氷柱の声』(講談社)創作童話『プンスカジャム』(福音館書店)、絵本『あんまりすてきだったから』(ほるぶ出版)。



絵本編集者
筒井 大介さん

1978年大阪府生まれ。
担当作に『こどもたちはまっている』(荒井良二)、『オオカミがとぶひ』(ミロコマチコ)、『えとえとがっせん』(石黒亜矢子)、『ぼくはいしころ』(坂本千明)、『ネコツメのよる』(町田尚子)、『わたしは知らないおんなのこ』(小林エリカ)他多数。

『あんまりすてきだったから』 内容紹介



作・くどうれいん
絵・みやざきひろかず

あんまりすてきだったから
歌手のうたごえがあんまりすてきだったから、こんちゃんはお手紙をかきました。こんちゃんの心のこもったお手紙をはこぶゆうびんやは、なんだかうれしくなって、くちぶえをふきました。くちぶえをきいたやまめは、なんだかうれしくなって、しぶきをあげてはねました。こんちゃんのうれしい気持ちが、ふしぎとみんなに伝わって...。すてき!と思った人にはお手紙を出しましょう。うれしい気持ちがどんどん広がる、くどうれいん初めての絵本。

配信方法 / パブリックビューイング (YCAM スタジオ C)
個別配信 (Zoom)

定 員 / いずれも 100 名 (先着順)

申込み / 申込フォーム (<https://logoform.jp/f/xRMzm>)
電話 (083-901-1040)

問い合わせ / 山口市立中央図書館
083-901-1040
info@lib-yama.jp

申込みフォームはこちら→

